

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	ネットワークセキュリティ論2		
英文授業科目名	Network Security 2		
開講年度	2008年度	開講年次	
開講学期	前学期	開講コース・課程	博士前期・後期課程
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	情報システム学研究科-情報ネットワークシステム学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	情報ネットワークシステム学専攻		
担当教官名	山口 和彦		
居室	総合研究棟919		

公開E-Mail	授業関連Webページ

【講義の狙い, 目標】
ネットワークセキュリティ論2 は多様な情ネットワークセキュリティの理論と実践の問題を扱う講義である。 特に電子透かし方式とそれに関連する諸問題について論じる。

【内容】
<p>(a) 授業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステガノグラフィ、ステガノグラフィ解析、電子透かしの埋め込み法とプロトコル ・暗号・情報セキュリティ応用と最新の研究動向 ・ネットワークセキュリティ、バイオメトリックス ・電子透かし、暗号・セキュリティの情報理論・符号理論等関連分野との融合問題 ・乱数生成法の応用 <p>等から話題を選び講義する。</p> <p>H20年度は電子透かし、電子指紋といった話題からスタートし結託耐性符号について講義する。</p> <p>(a) 授業の進め方 授業中に演習を行うことがある、レポート用紙を持参すること</p> <p>(c) 授業時間外の学習（予習・復習等）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予習は指示があった場合に行えばよい。 ・授業内容の復習は必須である。 <p>通常の大学院生の場合、宿題レポートと合わせて授業時間の2倍程度の時間が見込まれる。</p> <p>(c) オフィスアワー：授業相談 月曜日 - 金曜日 12:30 - 16:30の在室時が望ましい。</p>

電気通信大学 平成20年度シラバス

会えない場合は、E-mailなどで事前にアポイントを取ること。
訪問可能な日時をできるだけ多く指定すること。

【教科書，参考書】

H 2 0 年度は
K. J. Ray Liu他著
Multimedia Fingerprinting Forensics for Traitor Tracing, Hindawi Publishing などを利用する

【予備知識】

暗号・情報セキュリティのプロトコル
信号処理
の知識があると理解しやすい

【演習】

未定．授業の進度，学生の理解度により宿題として検討している課題を演習にすることがある．

【成績評価方法及び評価基準】

教室での議論，レポートで判断する．必要であれば試験をする．

- ・電子透かしを取り巻く情報セキュリティ分野の社会的な状況を理解し，自分の意見を含めて論じられること，
- ・各種方式，プロトコルの機能特徴と，具体的なアルゴリズムがほぼ理解できていること，

が合格の基準である．

【その他】

偶数年度開講
E-mailアドレス及び授業関連のURLは授業中に板書にて公開する．